

昭和十四年千葉縣統計書

凡例

1. 本縣統計事務ハ從來廳中各課ニ分屬シタリシカ明治四十二年度ニ於テ新ニ知事官房ニ統計係ヲ置キ統計書ノ編纂其ノ他統計ニ關スル事務ヲ統理シ大正十五年七月郡役所廢止ニ伴ヒ廳中ノ分課ヲ改メ文書統計課ト改稱シ更ニ昭和四年九月文書事務ト分離シ統計課ヲ獨立セシメ超ヘテ昭和十年一月官制改正ニ伴ヒ總務部ニ屬スルニ至リ以テ統計事務ヲ管掌セリ

本縣統計書ハ從來毎年一回合刊行シタルモ浩瀚ナル統計書ハ取扱ニ不便ナルノミナラス社會ノ進展ニ伴ヒ諸般ノ施設經營統計書ニ俟ツヘキモノ益々多キヲ加ヘ從テ其ノ刊行ノ可成速カナラムコトヲ要求スルニ至リタルヲ以テ大正四年統計書ヨリ七編ニ分チ刊行セシヲ昭和元年統計書ヨリ次ノ五編ニ改メ稿成ルニ從ヒ隨時之ヲ刊行シ以テ益々一般統計ノ利用ニ資セムコトヲ期セリ本編ハ即チ其ノ第一編トス而シテ本編中氣象ハ從來第三編ニ登載セルヲ昭和十年統計書ヨリ組替セリ

第一編 土地、氣象、戸口、財政、議會、官公吏

第二編 教育、社寺教會、兵事、慈惠救濟及褒賞

第三編 農業、工業、蠶絲業、牧畜業、山林業、鐵業

第四編 會社、物價及資金、銀行金融、貯蓄及產

第五編 警察、衛生

業組合、土木交通

2. 本編ハ市町村長ヨリノ報告又ハ他官廳其ノ他ノ公私設團體ヨリ直接ニ蒐集セル材料及廳中各課ノ調査ニ據リ編纂セルモノナリ
3. 本編中人口統計ニ關シテハ内閣統計局調査ニ係ル昭和十年ノ事實ニ據リタルモ其ノ他總テハ昭和十四年又ハ昭和十四年度ノ事實ヲ輯錄シタルモノニシテ特殊ノ事情アルモノハ數年前ニ溯リ累年ノ計數ヲ排列シテ獨立ノ一表トナシ或ハ表章ノ首ニ列記シテ其ノ消長進否ノ狀態ヲ比較校量スルノ便ニ供ス
4. 本編中何年トアルハ其ノ暦年間、何年度トアルハ其ノ會計年度間ノ事實ヲ掲載シタルモノナリ

2 凡 例

5. 數位ハ概ネ町、圓等ノ一位ニ止メ以下端數ハ大抵四捨五入スト雖一位以下ノ小數ヲ知ル必要アルモノハ其ノ一位ニ「・」ヲ附シ以下二位ニ止ム其ノ他千位百萬位ニハ「,」ヲ附シ數字上疑義アルモノハ「?」ヲ事實ナキモノニハ「—」ヲ附シ又計數ノ一位ニ滿タサルモノヲ示スニハ「0」ヲ記載セリ
6. 本編ハ從來ノ單位ヲ以テ計上シタルモ之ヲ「メートル」法ニ對照スレハ次ノ如シ

一里ハ 3.927 「キロメートル」

一哩ハ 1.609 「キロメートル」

一町歩ハ 99.174 「アール」 (0.009917 平方キロメートル)